

平成27年度 保健体育科新任教員研修会 報告書

報告者 知徳高等学校 澤田 洋平

実施日 平成27年11月25日(水)

実施校 三島学園知徳高等学校

参加者 部会長 土屋義人(常葉菊川) 副部会長 村田貴宏(常葉菊川)
専門委員 6名
保健体育教員 13名 以上21名

研修報告

- 1 部会目標 「たくましい体力と豊かな情操を育てる」
- 2 開会式 9:10~9:30
部会長挨拶 土屋義人(常葉学園中学校・高等学校校長)
会場校校長挨拶 鈴木貞夫(三島学園知徳高等学校校長)
- 3 研究授業 9:45~11:35(2限 3限)
岡田和也教諭 体育「バスケットボール」(体育館)2限目
対象 2年FE組男子
内容 スクリーンプレイを理解させ、ゲーム形式の中で実践させる。

堀江亜紀教諭「バレーボール」 体育(体育館)2限目
対象 1年NB組女子
内容 基礎的なパスの修得とスパイクの導入をおこなう。

樋口弘恵教諭 保健「心の健康と自己実現」(会議室)3限目
対象 1年T組
内容 「ジョハリの窓」を通じて自己理解を深め、個々の自己実現への道筋を探ることを主題とした。

授業について

本校においては1年目の初任はおらず、3名とも3年~4年の経験を持つ。それぞれが特色ある授業内容を展開した。

岡田教諭は対象クラスの特徴を考え(普通科スポーツ健康コース)、スポーツに対する興味関心の高さから、実際のゲームでも利用できるスクリ

ーンプレイを実践させるというレベルの高いものとなった。基礎的な部分での展開は充実したものとなったが、ゲーム中での実践は難しかった。今後も継続して理解を深めさせたい。

堀江教諭はバレーボールの授業にありがちな、ボールに対する恐怖心やパスのやり方の難しさを、初心者でもわかるように細かな視点で、わかりやすく説明し実施させている様子が見られた。ほとんどの生徒が初心者でありながら、パスやスパイクの動きがとれていることに感心した。今後はそれをゲームに発展させていきたいところである。

樋口教諭の保健の授業に関しては、単元を考えても教授がしにくいところであったが、導入の段階で「ジョハリの窓」を用いて自己理解をさせていた。生徒の興味関心も高まったところからの展開であったところに工夫が感じられた。要所で導入の内容が効いており、一時間を通じてまとまった授業である印象であった。

4 反省会・講評 11:45～12:15

講評 副部長 村田貴宏先生（常葉菊川中学・高等学校）

閉会 12:15